第４版 2025 年２月１日発行
V05L22R1

ES/1 NEO

CSシリーズ

V05L22R1

Release News Letter

機能拡張

株式会社 アイ・アイ・エム

改版履歴

日付	版数	内容
2024/02/01	1	V05L22R1 リリース
2024/08/01	2	(2024/02/13) 「4.1.1. Acquire 12.50 の提供」に「SUSE Linux Enterprise Server 15.5」を追記 (2024/08/01) 「3.3.2. Microsoft 365 定期稼働確認（2024 年 7 月）」を追記 「3.4.2. 機能廃止のお知らせ」を追記
2024/11/01	3	CS シリーズ V05L21R2　2024 年 10 月 31 日 サポート終了済 Control Center 12.20　2024 年 10 月 31 日 サポート終了済 「4.1.1. Acquire 12.50 の提供」に下記を追記 Red Hat Enterprise Linux 8.9-8.10 Red Hat Enterprise Linux 9.3-9.4
2025/02/01	4	「8.1.1. ONTAP 9.8 への対応」を追記 「3.3.3. Microsoft 365 定期稼働確認（2025 年 1 月）」を追記

目 次

第 1 章　はじめに 1

1.1.　V05L22R1 における大きな機能拡張ポイント 1

第 2 章　前リリースとの性能比較 2

2.1.　ES/1 NEO CS シリーズ V05L21R2／Performance Web Service V05L21R2 との比較 2

第 3 章　ES/1 NEO CS シリーズ全般 3

3.1.　ES/1 NEO CS シリーズのサポートについて 3

3.1.1.　ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間 3

3.1.2.　通常サポート中とサポート終了後の違い 3

3.2.　Control Center のサポートについて 3

3.2.1.　Control Center のサポート期間 3

3.3.　既存機能の拡張 4

3.3.1.　Microsoft 365 定期稼働確認（2024 年 1 月） 4

3.3.2.　Microsoft 365 定期稼働確認（2024 年 7 月） 5

3.3.3.　Microsoft 365 定期稼働確認（2025 年 1 月） 6

3.4.　製品/機能の廃止 7

3.4.1.　製品廃止のお知らせ 7

3.4.2.　機能廃止のお知らせ 7

第 4 章　Acquire 8

4.1.　新機能の提供 8

4.1.1.　Acquire 12.50 の提供 8

第 5 章　Control Center 9

5.1.　新機能の提供 9

5.1.1.　Control Center 12.50 の提供 9

第 6 章　pdbmagic2 10

6.1.　既存機能の拡張 10

6.1.1.　Syncsort Capacity Management 12.50 への対応 10

第 7 章　CS-REPORT 11

7.1.　新機能の提供 11

7.1.1.　Microsoft Word がインストールされていない環境でも報告書作成が可能に 11

第 8 章　CS-Storage for NetApp 12

8.1.　既存機能の拡張 12

8.1.1.　ONTAP 9.8 への対応 12

第９章　変更一覧 13
9.1.　本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧 13
9.1.1.　変更一覧 13

第1章　はじめに

1.1.　V05L22R1 における大きな機能拡張ポイント

本リリースでは、以下の大きな機能拡張が行われています。詳細な内容につきましては、各機能の紹介ページを参照してください。

(1) Acquire/Control Center　：バージョン 12.50 の提供　P.7, 8
(2) CS-REPORT　：Microsoft Word を使用しないグラフ貼り付け機能の提供　P.10

第2章　前リリースとの性能比較

2.1.　ES/1 NEO CS シリーズ V05L21R2／Performance Web Service V05L21R2 との比較

本リリース「ES/1 NEO CS シリーズ V05L22R1／Performance Web Service V05L22R1」と「ES/1 NEO CS シリーズ V05L21R2／Performance Web Service V05L21R2」で処理時間を比較した結果です。

コンポーネント		結果	備考
pdbmagic2		–	変化なし
インポート処理		–	変化なし
CS-MAGIC		–	変化なし
CS-ADVISOR		–	変化なし
Flatfile Maintenance	検査	–	変化なし
	集約	–	変化なし
	管理	–	変化なし
CS-REPORT		–	変化なし
Performance Web Service Uploader		–	変化なし
Performance Web Service Maintenance 定期メンテナンス		–	変化なし

●結果の記号について

–　：　変化なし

◎　：　処理時間が 2 割以上短縮

○　：　一部の処理または条件で処理時間が短縮

▲　：　処理時間が 2 割以上増加

メモ！
実行環境のスペックや処理量によって同じ結果が得られない場合があります。

第3章　ES/1 NEO CS シリーズ全般

3.1.　ES/1 NEO CS シリーズのサポートについて

3.1.1. ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間

ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース	サポート終了
V05L22R1	2024/02/01 リリース	2026 年 10 月 31 日 サポート終了
V05L21R2	2022/02/01 リリース	2024 年 10 月 31 日 サポート終了済

3.1.2. 通常サポート中とサポート終了後の違い

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。
但し、不具合に対応した修正モジュールは、最新リリース、またはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正モジュールを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可
不具合修正モジュールの提供	可	不可

3.2.　Control Center のサポートについて

3.2.1. Control Center のサポート期間

Control Center のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース	サポート終了
Control Center 12.50	2024/02/01 リリース	2026 年 10 月 31 日 サポート終了
Control Center 12.20	2022/02/01 リリース	2024 年 10 月 31 日 サポート終了済

3.3. 既存機能の拡張

3.3.1. Microsoft 365 定期稼働確認（2024 年 1 月）

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要

下記 Microsoft 365 のバージョンについて、CS シリーズが動作することを確認しました。

Microsoft 365 Excel によるグラフ作成
　CS-MAGIC
Microsoft 365 Word による報告書作成
　CS-REPORT

○サポートバージョン

半期エンタープライズチャネル
　バージョン 2308（ビルド 16731.20504）32 ビット

3.3.2. Microsoft 365 定期稼働確認（2024 年 7 月）

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要

下記 Microsoft 365 のバージョンについて、CS シリーズが動作することを確認しました。

Microsoft 365 Excel によるグラフ作成
　CS-MAGIC
Microsoft 365 Word による報告書作成
　CS-REPORT

○サポートバージョン

半期エンタープライズチャネル
　バージョン 2402（ビルド 17328.20452）32 ビット

3.3.3.Microsoft 365 定期稼働確認（2025 年 1 月）

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要
下記 Microsoft 365 のバージョンについて、CS シリーズが動作することを確認しました。

Microsoft 365 Excel によるグラフ作成
CS-MAGIC
Microsoft 365 Word による報告書作成
CS-REPORT

○サポートバージョン
半期エンタープライズチャネル
バージョン 2408（ビルド 17928）32 ビット

3.4. 製品/機能の廃止

3.4.1. 製品廃止のお知らせ

○対象製品のベンダサポート終了にともなう製品廃止

2024 年 7 月 31 日にて、以下の製品を廃止しました。

・CS-MySQL

・CS-Virtage

3.4.2. 機能廃止のお知らせ

○概要

Windows Server 2012/2012 R2 サポート廃止にともない、Windows Acquire11.20 における以下の機能を廃止しました。

・Windows Acquire

エージェントレスデータ収集

第4章　Acquire

4.1.　新機能の提供

4.1.1. Acquire 12.50 の提供

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要

本リリースから、対象サーバ上でパフォーマンスデータを取得する基本データ収集機能「Acquire」の新バージョン12.50を提供します。Acquire 12.50の対応環境は、以下のとおりです。

Windows Server 2012
Windows Server 2012 R2
Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022
AIX 7.1-7.3
Solaris 11.0-11.4
HP-UX 11.3i
Red Hat Enterprise Linux 7.0-7.9　(x64、System z)
Red Hat Enterprise Linux 8.0-8.8　(x64、System z)
Red Hat Enterprise Linux 8.9-8.10　(x64、System z)
Red Hat Enterprise Linux 9.0-9.2　(x64、System z)
Red Hat Enterprise Linux 9.3-9.4　(x64、System z)
SUSE Linux Enterprise Server 12.0-12.5　(x64、System z)
SUSE Linux Enterprise Server 15.0-15.5　(x64、System z)
Oracle Linux 7.0-7.2　(x64)
Oracle Linux 7.7　(x64)
Oracle Linux 7.9　(x64)

Oracle 19c
SQL Server 2014
SQL Server 2016
SQL Server 2017（Windows版）
SQL Server 2019（Windows版）　※累積更新プログラム CU8以降が必要
SQL Server 2022（Windows版）
Symfoware 11
Symfoware 12　※Nativeインターフェースのみ対応

IIS 8.0
IIS 8.5
IIS 10.0

第5章　Control Center

5.1.　新機能の提供

5.1.1. Control Center 12.50 の提供

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要

本リリースから、管理用マシン上でパフォーマンスデータの変換／蓄積を行うデータ管理機能「Control Center」の新バージョン12.50を提供します。Control Center 12.50の対応環境は、以下のとおりです。

Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022

SQL Server 2016 SP2
SQL Server 2017（Windows版）
SQL Server 2019（Windows版）　※累積更新プログラム CU8以降が必要
SQL Server 2022（Windows版）

○前提

上記のSQL ServrerのEnterprise Edition、Standard Editionが導入要件となります。
Express Edition、Essentials Editionは、サポート対象外です。

第6章　pdbmagic2

6.1.　既存機能の拡張

6.1.1. Syncsort Capacity Management 12.50 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要

pdbmagic2 で Syncsort Capacity Management 12.50 に対応しました。

○前提

Syncsort Capacity Management 12.50 を使用

○詳細

Syncsort Capacity Management 12.50 のパフォーマンスデータベースから中間フラットファイルを出力します。
また、「pdbmagic2 設定－ターゲット」における Acquire バージョンの選択肢に「12.50.0」を追加しました。

第7章　CS-REPORT

7.1.　新機能の提供

7.1.1. Microsoft Word がインストールされていない環境でも報告書作成が可能に

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	–

○概要

パブリッククラウド環境(AWS、Azure、GCP 等)へ Microsoft Office 製品を導入することはライセンス違反になるケースがあるため、一部の環境では ES/1 NEO CS シリーズの利用ができませんでした。

今回の拡張では、Microsoft Office 製品が導入されていない環境でも、CS-REPORT を実行して報告書を作成できるようにしました。

○効果

管理マシンをパブリッククラウド上に置く構成でも、定常的な運用が行えるようになりました。

○詳細

Microsoft Office 製品が導入されていない環境での ES/1 NEO CS シリーズ実行では、CS-MAGIC で作成できるグラフの種類が制限されます。詳細については「CS-MAGIC 使用者の手引き」をご参照ください。

また、CS-REPORT による報告書作成では、報告書テンプレートの新規作成や編集、閲覧ができません。

このため、Microsoft Office 製品が導入されていない環境で CS-REPORT を実行する場合は、Microsoft Office 製品が導入されている別の管理マシンで報告書テンプレートを作成し、その報告書テンプレートと設定ファイルを手動コピーで導入する必要があります。

詳細については弊社までお問い合わせください。

第8章　CS-Storage for NetApp

8.1.　既存機能の拡張

8.1.1. ONTAP 9.8 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	–	–	NetApp

○概要

CS-Storage for NetApp にて、ONTAP 9.8 に対応しました。

○効果

ONTAP 9.8 環境の統計情報を取得し、CS-MAGIC にてグラフを作成できるようになります。

第9章　変更一覧

9.1.　本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧

9.1.1. 変更一覧

数値変更	表示変更	プロダクト	内容
		Acquire	Acquire 12.50 の提供
		Control Center	Control Center 12.50 の提供
		pdbmagic2	Syncsort Capacity Management 12.50 への対応
		CS-REPORT	Microsoft Word がインストールされていない環境でも報告書作成が可能に
		CS-Storage for NetApp	ONTAP 9.8 への対応

数値変更　：本バージョンの適用により、出力される値（数値/文字列）に変更がある場合に●が付きます。
表示変更　：新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます。